

平成 21 年 5 月 13 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006～2009

課題番号：18310158

研究課題名（和文）

近代ユダヤ文化論の学際的総合研究

研究課題名（英文）

Interdisciplinary General studies on the Modern Jewish Culture

研究代表者

氏名：市川 裕

東京大学・大学院人文社会系研究科・教授

研究者番号：20223084

研究分野：人文学・哲学

科研費の分科・細目：宗教学

キーワード：国民国家、アイデンティティ、市民権、二重の忠誠心、シオニズム、移民、

1. 研究計画の概要

世界各国に住むユダヤ人が、近代の市民権取得以来、どのような帰属意識をもち、ユダヤ教をどのように近代化して、帰属する国家とユダヤ教への忠誠心の危機を克服してきたか、この問いを、宗教学、思想史、歴史学、社会学、文学、国際政治学等の諸学の専門家13名によって体系的に把握する試み

2. 研究の進捗状況

各自の問題設定に基づいて、研究を進めて、年1回の研究発表によって互いの意識を共有してきている。

3. 現在までの達成度

2008年に、これまでの成果の一部を論文集として世に問うている。これをふまえて、さらに主題を掘り下げる努力を行って、平成21年の最終年度で、研究のとりまとめを目指す。

4. 今後の研究の推進方策

平成21年度をもって成果報告書を作成するが、これを踏まえて平成22年度からの新たな研究を継続して展開できることが肝要、という点で、全員が一致している。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計1件）

市川裕「ギリシアとの相克としてのユダヤ教史 E・レヴィナスのタルムード研究を手がかりに」『宗教史とは何か 上巻』リトン

2008.9

〔学会発表〕（計1件）

市川裕「宗教史の枠組における近代主権国家の意義」日本宗教学会 2008.9

〔図書〕（計1件）

市川裕、白杵陽、手島勲矢、大塚和夫（共編著）『ユダヤ人と国民国家』岩波書店、2008年9月

〔産業財産権〕

出願状況（計0件）

取得状況（計0件）

〔その他〕